

2024年8月21日（第2版）

過去にリハビリテーション科の処方のもとに言語聴覚療法を受けられた
患者さんまたはご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 球麻痺がみられた筋萎縮性側索硬化症患者での咽頭期の評価について
-喉頭挙上遅延時間（LEDT）と咽頭期誘発遅延時間（PDT）の比較-

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 堤昌恵・北海道大学病院 リハビリテーション部 言語聴覚士長

[研究の目的]

筋萎縮性側索硬化症（ALS）の患者さんの飲み込みの遅れの有無を確認する際、喉の動きに遅れがあるか否かを確認するための指標（喉頭挙上遅延時間（LEDT）と咽頭期誘発遅延時間（PDT））のどちらが有効かを詳細に検討し、分析するため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

筋萎縮性側索硬化症（ALS）の患者さんで、2021年1月1日～2024年8月21日の間に、当院で言語聴覚療法を受けられた方。

○利用する情報

以下の項目について、2024年8月21日までの情報を利用させていただきます。

舌の圧力、診断名、年齢、性別、身体所見、初発症状が出現してからALSの確定診断に至るまでの期間、検査結果（呼吸機能検査、言語機能評価、画像検査）

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用開始：2023年10月頃）～2027年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 辻澤 陽平

電話 011-706-5740 FAX 011-706-7626